

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【153】
2. 日時：令和2年4月10日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官※、江崎企画調査官、岸野主任安全審査官、

羽場崎主任安全審査官※、三浦主任安全審査官※、

小野安全審査専門職※

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

山崎統括技術研究調査官

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部 課長 他10名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年4月8日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】

- 評価対象断面の代表性について、屋外重要土木構造物の各耐震評価候補断面の鉄筋量又は鉄筋量を考慮した断面評価上の裕度を踏まえて説明すること。
- 補機冷却用海水取水路の評価対象断面の代表性について、取水路下の呑口から点検立坑までの区間を含めた選定プロセスを説明すること。
- 鋼・合成構造標準示方書及び鉄道構造物等標準・同解説について、屋外重要土木構造物の鋼管杭への適用性を説明すること。
- 耐震評価のばらつきを考慮する物性値の代表性について、地盤のせん断変形への影響を詳細に説明すること。
- 屋外重要土木構造物のせん断照査位置及び照査時刻の選定について、網羅的な最小安全裕度の抽出の考え方、方法及び算定プロセスを説明すること。また、最小安全裕度のせん断照査位置、照査時刻の抽出及び照査結果の算定について、計算プログラムを用いている場合には、計算プログラムの妥当性及び検証結果を説明すること。
- 追加解析ケースを選定する照査項目について、照査結果の裕度を踏ま

えて説明すること。

【スクリーン室、取水路、補機冷却用海水取水路の耐震安全性評価】

- スクリーン室の頂版について、せん断耐力式及び材料非線形解析を用いてせん断耐力を求める場合の開口部の取扱いを説明すること。
- 浮上り対策としての地盤改良の範囲、幅、高さ等の設定が妥当とした根拠について、FLIP解析の結果等を用いて説明すること。
- 構造物側面の地盤改良の状況及び構造物の不透水層等への根入れの状況について、ブロックごとに整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし